

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第1回 上越市特別職報酬等審議会

2 議題

- (1) 審議会の役割、所掌事項、これまでの審議内容等について（公開）
- (2) 人事院勧告等を踏まえた期末手当の改定について（報告）（公開）
- (3) 審議会への諮問内容について（公開）
 - ・市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議会の議員の議員報酬の額について

3 開催日時

令和6年1月17日（水）午前10時00分から

4 開催場所

上越市役所 木田第一庁舎 4階 401会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）の氏名（委員敬称略、50音順）

- ・委員：日馬直一委員、高橋信雄委員（会長）、野俣俊雄委員、羽深浩一委員、
羽深真一委員、樋口健太委員、本城文夫委員、丸山景子委員、
山崎活美委員
- ・事務局：八木副市長、笹川総務部長
人事課 白石課長、大谷副課長、羽深係長、三田主任

8 発言の内容

○開会

- ・委員の過半数の出席を確認。上越市特別職報酬等審議会条例第5条の規定により、本審議会が成立していることを報告。

○委員自己紹介

○副市長挨拶

○会長職務代理者の指定

－ 会長が日馬直一委員を指定 －

○諮問

－ 八木副市長から高橋信雄会長へ諮問書を読み上げた後に手交 －

【諮問内容】 市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議会の議員の議員報酬の額について

○議事

【高橋信雄会長】

議題(1)及び(2)について、一括して、事務局に説明を求める。

【白石人事課長】

－ 資料 1～4 に基づき説明 －

【高橋信雄会長】

説明に対し、委員の皆さんから質問、意見を求める。

－ 質問・意見なし －

【高橋信雄会長】

議題(3)について、事務局に説明を求める。

【白石人事課長】

－ 資料 5 に基づき説明 －

【高橋信雄会長】

説明に対し、委員の皆さんから質問、意見を求める。

【本城文夫委員】

コロナ禍で市内の経済が低迷しており、ようやく回復の兆しがあるということだが、一方で、市民生活はまだ厳しい現状にあると認識をしている。その中で、市民感情をある程度考慮しながら今回の特別職の改定に当たってきたと思うが、特に最近の市政の停滞感みたいなものがマスコミを通じて伝えられている中で、特別職の責任は大変重いのではないかと、そういうことも含めて、市長ほか、特別職の皆さんの責任の重さを再認識してもらおうということをお願いしたい。

それから類似都市との比較でお聞きしたい。人口規模や財政規模を比較しているが、現在、市長の任期中、市長が 15%、副市長は 10%、特例措置として政策的な減額をされている。これは類似都市との比較もさることながら、県内他市でも減額措置をされている市長、副市長がおられるのか教えていただきたい。類似都市との比較で人口規模を出されているが、財政規模にもよると思う。上越市のような 1,000 億円弱の財政規模のところと、都市型のところの人口比較で見ると、落差がかなり出るのでは

ないか。そういうことも含めて、類似都市との比較をどのようにされているか教えていただきたい。

また、前回、政務調査費の透明性を確保し、市民の理解を得られるような方法で運用していただきたいということを申し上げた。そのことは議会の側にお伝えをしますという笹川部長のご答弁があったと記憶している。その後、そのことが伝えられて、どのような反応があったのか、参考にお聞かせいただきたい。

【白石人事課長】

私どもとしては、この間の国の通知のとおり、一般職の職員の給与改定の状況や国家公務員の特別職の改定状況などを踏まえ、検討してきている。市民の声としては、今回のこの審議会でも市民を代表する方々からのご意見をいただきながら、最終的に判断すべきものと考えている。

また、令和5年4月1日現在で独自の給与減額を実施している団体は、県内では新潟県が20%、加茂市が15%、類似団体では、埼玉県春日部市が50%、兵庫県宝塚市が10%減額している。

【笹川総務部長】

春日部市の50%の減額は、選挙に当たって市長が最初から50%減という公約を掲げて出られている。その他、新潟県の場合は、財政状況が厳しいという中で削減をしているという状況である。

また、政務活動費に関するご意見については、私の方から議会事務局、それから議長にも直接お会いした時にお伝えした。議会では、政務調査費について、情報公開の制度等を使って公開をしており、一層透明性について努めていくというお返事をいただいている。

【日馬直一委員】

中小零細企業では、売上げは少し上昇しているが、収益的に見るとまだまだ苦労されているところもある。総じて慢性的な人手不足であり、人員を確保するためにベースアップしなければならない。

今ほど、方向性の整理を説明いただいて、上越市だけが突出して改定するものではないということは十分理解できた。引上げについて反対ではないが、民間ではまだそういう状況の企業もあるということをご承知いただきたい。

【白石人事課長】

報酬の考え方については、先程ご説明したとおり、国や他市の状況、それから経済

状況も合わせて、検討させていただいたところであり、委員の皆様の意見を伺って、最終的に決定していきたいと考えている。

【羽深真一委員】

J Aも報酬審議会というのがあり、平成17年からずっと役員報酬は据え置きである。職員の給与は上げてきているが、農業界も厳しい状況である。特別職を0.3%引き上げということであるが、先ほど本城委員の方から話があったように、市民に理解をいただけるような説明を十分していただきたい。やはり、一般職とは少し違うと思うので、ぜひその辺を勘案いただきたい。

また、県が20%減額をしているということだが、今回、国が引き上げるということで知事の状況が分かれば教えていただきたい。

【白石人事課長】

新潟県については今後、審議会が開催される予定であり、現時点で情報はない。

また、市民にしっかり説明できる状況ということについては、本日審議いただいた内容をもとに、私どもも考えていきたい。

【高橋信雄会長】

他に質問、意見はないか。

【事務局】

本日ご欠席の江村委員におかれまして、事前に意向をお伺いしたところ、改定案に賛成とのご意見をいただいている。

【高橋信雄会長】

皆さんから貴重なご意見を頂戴した。現状の把握という点に課題があると委員から意見も出ている。他市の例を参考にしないとなかなか基準が出ないというのは理解できるが、上越市としてどうなのかというところをぜひ今後の課題としていただきたい。

今回のこの諮問について、引き上げるということが適当と考えるが、委員の皆さんはそれでよろしいか。

— 異議なし —

【高橋信雄会長】

それでは、答申案を作成させていただく。

－ 答申案を作成の上、全委員が内容を確認 －

【本城文夫委員】

先程も話があったが、市民や中小零細企業がコロナ禍からようやく回復に向かおうとする現状の中で、特別職の責任の重さを再認識していただくため、答申書に附帯意見を入れても良いのではないかと。

【高橋信雄会長】

今ほど、本城委員から附帯意見について意見があったが、附帯意見を入れることで委員の皆さんはよろしいか。

また、答申案の修正について、私に一任されることでよろしいか。

－ 異議なし －

－ 閉会后に答申書を手交する旨、全委員が了承 －

【高橋信雄会長】

事務局から何かあるか。

【事務局】

特になし。

○閉会

－ 高橋信雄会長から笹川総務部長に答申書を手交 －

9 問合せ先

総務部人事課給与係 TEL : 025-520-5619

E-mail : jinji@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。